

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 語学学校 I.C.NAGOYA

1 事業の趣旨・目的

語学学校 I.C.NAGOYA は 2008 年度より 6 校のブラジル人学校に日本語指導者を派遣してきたが、(2009 年に廃校となったブラジル人学校がある。)各学校間で児童・生徒の交流、親同士の交流の機会がなかった。名古屋駅から徒歩 3 分にある当校で親子日本語教室を開き、ブラジル人学校に在籍している児童・生徒とその両親を対象に日本語を教え、児童・生徒の交流の場を作り、コミュニケーション能力を高め、さらに日本語教師や当校に勉強しに来る多彩な国籍、言語に触れ合うことにより地域社会の中でも生活できるようにする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月24日	名駅永田ビル	石田恵子 小泉拓広 真藤 渉 篠田カルロス	日本語教室について	1.出席者紹介 2.事業の趣旨・目的を確認 3.参加者募集方法の検討 4.日本語教室運営計画
7月17日	名駅永田ビル	石田恵子 小泉拓広 篠田カルロス	日本語教室について	1.スケジュールの確認 2.必要教材、備品などについて 3.授業内容について
10月9日		石田 恵子 青木 良憲 小泉 拓広	日本語教室について	1.学習計画表について

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 :「おやこのたのしいにほんごきょうしつ」
- ② 開催場所 :語学学校 I.C.NAGOYA
(名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋駅ビル 3F)
- ③ 学習目標 :名古屋駅から徒歩 3 分にある当校で親子日本語教室を開き、日本語が外国語である外国人の子供とその両親を対象に日本語を教え、交流の場を作り、コミュニケーション能力を高め、さらに日本語講師や当校に勉強しに来る多彩な国籍、言語に触れ合うことにより地域社会の中でも生活できるようにする。また、子供だけではなく、日本の学校からの連絡事項がわからないなど親同士が同じ教室に集まることにより、日本語だけではなく、問題があった時に自分で解決できる土台を作る。
- ④ 使用した教材・リソース :主教材 暮らしの日本語指差し会話帳 4 英語版
:副教材 Japanese for young people、独自に作成したプリント、かるた、水習字、みんなの教材サイト、日本語初歩
- ⑤ 受講者の募集方法
方法:チラシ配布、外国人が多く集まる場所(外国人学校、領事館、協会、教会)を訪問し、当教室の趣旨目的を説明。語学学校 I.C.NAGOYA の学生による紹介。
場所:ブラジル人学校、ブラジル領事館、ブラジル人学校、レストラン、
- ⑥ 受講者の総数 33 人
(出身・国籍別内訳 アメリカ 9 人, フィリピン 6 人, カナダ 1 人,ウガンダ 2 人,
韓国 2 人,ペルー 2 人,ブラジル 2 人,中国 3 人,
台湾 1 人,ミャンマー 1 人,イギリス 1 人,オーストラリア 1 人,ルワンダ 1 人,
シンガポール 1 人)
(内訳: 親子参加 5 組 12 人、大人のみ参加 21 人、子どものみ参加 0 人)
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

⑧日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	7月24日 11:30-13:30	2時間	16人	アメリカ・英語(6人) フィリピン・タガログ語(4人) カナダ・英語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) 韓国・韓国語(2人) ペルー・スペイン語(2人)	教授者1人 補助者1人	オリエンテーション 自己紹介の練習 挨拶 歌「かごめかごめ」
2	7月31日 11:30-13:30	2時間	12人	アメリカ・英語(2人) フィリピン・タガログ語(4人) カナダ・英語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) 韓国・韓国語(2人) ペルー・スペイン語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの紹介 (あ・か行)、 語彙紹介 (か行までできる語彙) 自己紹介発表
3	8月7日 11:30-13:30	2時間	10人	アメリカ・英語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) カナダ・英語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) 韓国・韓国語(2人) 台湾・台湾語(1人) ミャンマー・ミャンマー語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの紹介 (あ行、か行) ひらがな7並べ ひらがなの導入 (さ・た行) 語彙紹介 (た行までできる語彙) 自己紹介の復習 自己紹介 応用 仕事について紹介 資格について紹介
4	8月21日 11:30-13:30	2時間	10人	フィリピン・タガログ語(1人) カナダ・英語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) 韓国・韓国語(2人) ミャンマー・ミャンマー語(1人) ペルー・スペイン語(2人) ブラジル・ポルトガル語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (さ・た行) 語彙紹介 (た行までできる語彙) グループ対抗単語作り 自己紹介 学習者同士で質問 他己紹介
5	8月28日 11:30-13:30	2時間	8人	アメリカ・英語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (あ行からた行)

				ミャンマー・ミャンマー語(1人) ペルー・スペイン語(2人) イギリス・英語(1人)		ひらがなの紹介 (な行) 語彙紹介 (な行までできる語彙) ひらがな早ならべ 他己紹介発表
6	9月4日 11:30-13:30	2時間	6人	アメリカ・英語(2人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) ペルー・スペイン語(2人) 中国・中国語(1人)	教授者1人	ひらがなの復習 (あ行からな行) ひらがなの紹介 (な・は行) ビンゴゲーム 自己紹介復習 他己紹介、インタビュー
7	9月11日 11:30-13:30	2時間	7人	アメリカ・英語(2人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) ペルー・スペイン語(1人) 韓国・韓国語(2人) 中国・中国語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (あ行からほ行) ひらがなの紹介 (ま・や行) 線結びゲーム 数字 お金、値段紹介
8	9月18日 11:30-13:30	2時間	8人	アメリカ・英語(2人) フィリピン・タガログ語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(1人) 韓国・韓国語(2人) 中国・中国語(1人) オーストラリア人・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (あ行からや行) ひらがなの紹介 (ら・わ行) 数字・お金復習 敬老の日紹介
9	9月25日 11:30-13:30	2時間	13人	アメリカ・英語(2人) フィリピン・タガログ語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(2人) ミャンマー・ミャンマー語(1人) ペルー・スペイン語(1人) 韓国・韓国語(2人) 中国・中国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (あ行からわ行) かるた取りゲーム ものの数え方紹介 値段を聞く練習

				シンガポール・英語(2人)		
10	10月2日 11:30-13:30	2時間	12人	フィリピン・タガログ語(2人) ウガンダ・スワヒリ語(2人) ミャンマー・ミャンマー語(1人) ルワンダ・スワヒリ語(1人) 韓国・韓国語(2人) 中国・中国語(1人) オーストラリア・英語(1人) シンガポール・英語(2人)	教授者1人 補助者1人	かるた ひらがなの紹介 (が・ざ行) ものの数え方復習 会話: レストランで注文する
11	10月9日 11:30-13:30	2時間	9人	フィリピン・タガログ語(3人) ウガンダ・スワヒリ語(2人) 韓国・韓国語(2人) 中国・中国語(1人) ルワンダ・ルワンダ語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがな7並べ ひらがなの紹介 (だ・ば行) 数字の復習 時間の紹介 神経衰弱
12	10月16日 11:30-13:30	2時間	10人	フィリピン・タガログ語(1人) ウガンダ・スワヒリ語(2人) 韓国・韓国語(2人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 中国・中国語(1人) ルワンダ・ルワンダ語(1人) シンガポール・英語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがな復習 (清・濁音) ひらがな紹介 (促音・半濁音) 時間のよみ方復習 会話: ○○は何時ですか 文型: ~から~まで
13	10月23日 11:30-13:30	2時間	10人	アメリカ・英語(2人) フィリピン・タガログ語(2人) 韓国・韓国語(2人) ペルー・スペイン語(1人) 中国・中国語(1人) シンガポール・英語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (読み、語彙、ば行) ひらがなの紹介 (長音) 長音ウルトラクイズ (聞き取りゲーム) 日付紹介 会話: 休みはいつですか
14	10月30日 11:30-13:30	2時間	8人	アメリカ・英語(2人) 韓国・韓国語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (促音・長音)

				ミャンマー・ミャンマー語(1人) ルワンダ・ルワンダ語(1人) シンガポール・英語(2人)		聞き取りクイズ 動詞の導入 〇〇時にーをします。 ゲーム:だれのスケジュールかを当てる
15	11月6日 11:30-13:30	2時間	5人	アメリカ・英語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) 韓国・韓国語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがな復習 (静音・長音) 動詞の復習 日本の1年の行事を紹介
16	11月13日 11:30-13:30	2時間	6人	アメリカ・英語(2人) フィリピン・タガログ語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) ミャンマー・ミャンマー語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者1人	ひらがなの復習 (語彙、読み) 聞き取り (語彙、読み) ひらがな紹介 (拗音) 形容詞紹介 かるた
17	11月20日 11:30-13:30	2時間	3人	アメリカ・英語(2人) ペルー・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがな復習 (拗音) 動詞の復習 助詞の整理 文型:〇〇さんと〇〇へ行きます。
18	11月27日 11:30-13:30	2時間	5人	アメリカ・英語(2人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) 韓国・韓国語(2人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 (拗音) 語彙の紹介 (拗音+長音でできる語彙) 文型:〇〇はどこですか。 ゲーム:教室の中に隠した飴を探す
19	12月4日 11:30-13:30	2時間	5人	フィリピン・タガログ語(2人) ウガンダ・ウガンダ語(1人)	教授者1人 補助者1人	ひらがなの復習 水習字

				ペルー・スペイン語(1人) 中国・中国語(1人)		かるた カタカナの紹介 ごみの分別の紹介
20	12月11日 11:30-13:30	2時間	4人	アメリカ・英語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ウガンダ・ウガンダ語(1人)	教授者1人 補助者1人	買い物に必要な語彙 の紹介 会話:どこに売って いますか。 課外活動:家電量販 店に行き、どこに売 っているか聞く
21	12月18日 11:30-13:30	2時間	4人	アメリカ・英語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ウガンダ・ウガンダ語(1人)	教授者1人 補助者1人	カタカナの紹介 (ア・カ・ガ行) 会話:好き、嫌い
22	12月25日 11:30-13:30	2時間	3人	アメリカ・英語(2人) ウガンダ・ウガンダ語(1人)	教授者1人 補助者1人	カタカナの紹介 (サ・タ行) 日本のお正月の紹介
23	1月8日 11:30-13:30	2時間	10人	アメリカ・英語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) 韓国・韓国語(2人) ペルー・スペイン語(1人) 中国・中国語(2人) インドネシア・インドネシア語(1人)	教授者1人 補助者1人	カタカナの復習 (ア行からタ行) カタカナの紹介 (ナ・ハ行) 商店街の紹介
24	1月15日 11:30-13:30	2時間	8人	ウガンダ・ウガンダ語(1人) ペルー・スペイン語(1人) 中国・中国語(1人) インドネシア・インドネシア語(1人) 韓国・韓国語(2人) アメリカ・英語(2人)	教授者1人 補助者1人	課外授業 商店街の散策(お寺と 神社の違いを見る)
25	1月22日 11:30-13:30	2時間	3人	アメリカ・英語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者1人 補助者1人	カタカナの紹介 (マ・ワ行) 学校(小学校)の紹介

26	1月29日 11:30-13:30	2時間	1人	ウガンダ・ウガンダ語(1人)	教授者1人	カタカナの復習 (ア行からワ行) カタカナの紹介 (マ・ワ行) カタカナ書き取り
27	2月5日 11:30-13:30	2時間	3人	フィリピン・タガログ語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) ミャンマー・ミャンマー語(1人)	教授者1人 補助者1人	新聞作りの説明 (テーマ:日本で困ったことや驚いたこと) 災害・警察の紹介 防犯グッズの紹介 緊急連絡先の紹介
28	2月12日 11:30-13:30	2時間	4人	ミャンマー・ミャンマー語(1人) アメリカ・英語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者1人 補助者1人	課外授業 地震体験、台風体験、 火災(煙)体験
29	2月19日 11:30-13:30	2時間	3人	ミャンマー・ミャンマー語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者1人 補助者1人	前回の課外授業について話し合う 新聞作り
30	2月26日 11:30-13:30	2時間	6人	韓国・韓国語(2人) ミャンマー・ミャンマー語(1人) アメリカ・英語(1人) ウガンダ・ウガンダ語(2人)	教授者1人 補助者1人	成果発表会 新聞を完成させ、内容について発表する

⑨ 特徴的な授業風景

開催日:平成 22 年 8 月 21 日(土)

時間数:2 時間

参加者: 13 人(親子 2 組 5 人、大人のみ参加 8 人、子供のみ参加 0 人)

(カナダ人、ウガンダ人、フィリピン人、韓国人、ペルー人
ミャンマー人、ブラジル人)

目的:ひらがな「た行」まで習得する。自己紹介、他己紹介が日本語でできる。

内容:ひらがなの練習を最初の 1 時間行う。子供にとってひらがなを書く練習をすると線がまっすぐ書けない、線からはみ出してしまう等の問題があるが、親が子供の手を取り一緒に練習することで最後まで取り組むことができた。また途中でひらがなを覚えるゲームを取り入れる。(グループ対抗単語作り:46 あるひらがなの中から今まで学習した単語を作るゲーム)後半の 1 時間は自己紹介、他己紹介の練習をする。子供は将来の夢について考えた。将来について親と話合ういい機会になった。



開催日:平成 23 年 1 月 15 日(土)

時間数:2 時間

参加者: 9 人(親子 2 組 5 人、大人のみ参加 4 人、子供のみ参加 0 人)

(アメリカ人、韓国人、中国人、ウガンダ人、ペルー人、インドネシア人)

目的:商店街に行き、看板などの日本語を理解する。神社とお寺の違いを理解する。

内容:商店街を歩き、看板、標識などわからないことを日本語で質問する。また、神社とお寺を見学することにより、その違いを理解する。



開催日:平成 23 年 2 月 12 日

時間数:2 時間

参加者: 4 人(親子 0 組 0 人、大人のみ参加 4 人、子供のみ参加 0 人)

(アメリカ人、中国人、ウガンダ人、ミャンマー人)

目的:地震、台風、火災を体験することにより、日本で起こりうる災害について理解する。

内容:名古屋市港防災センターへ行き、地震、台風、火災を体験する。地震がない国(ウガンダ)出身の参加者は地震を体験し、怖さがわかったと言っていた。また、防災担当して下さった防災センターの方の説明は難しい日本語もあったが熱心に聞いていた。



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
なし				

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
小泉 拓広	語学学校 I.C.NAGOYA	タイ語教育、タイ人への日本語教育歴 6 年他日系人子弟日本語教育	17 回	担当窓口 教授者
石田 恵子	ポルトガル語、通訳、翻訳家	ポルトガル語通訳	26 回	教授者 補助者
青木 良憲	語学学校 I.C.NAGOYA 非常勤日本語講師(授業があるときのみ謝金が発生)	I.C.NAGOYA にて日本語進学課程、EPA 研修、AFS 日本語研修等を担当。	12 回	教授者

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

授業の最終日に参加者全員がメールアドレスを交換していた。講師が特に指示することなく参加者が自主的に日本語を使って交換していた。このことより、当初の目標である「交流の場を作り、コミュニケーション能力を高める。」ことが達成できたと考える。また、参加者にインタビューをした結果、次のような意見があった。

- ・ 日本語の勉強するきっかけになった。
- ・ 友達がたくさんできた。
- ・ 日本語が少しわかるようになった。上手になった。
- ・ 仕事場で日本人と日本語でコミュニケーションをとるようになった。
- ・ 日本で仕事が決まってくれしかった。

以上の結果より、「地域社会の中でも生活できるようにする。」ことが達成できたと考える。

② 学習者の習得状況

日本語教室に参加することによって日本語の語彙数が増え、自信を持って日本語で話すことができるようになった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

学習者から次のような声が聞かれた。

- ・ 仕事場で日本人とコミュニケーション取るときはポルトガル語だった。しかし、この日本語教室に参加したことによって、日本語でコミュニケーションするようになった。
- ・ 開講当初は英語だけしか話せなかったが日本語で話すようになった。課外授業の際には地域の方と日本語でコミュニケーションをとることができた。
- ・ 他の国の人達と交流することができた。また、日本語教室を通して友達ができた。今後、日本で生活していてわからないことがあれば日本人だけではなく、この教室の友達にも相談したい。
- ・ 子供が授業の内容を理解することができなかった時、先生だけではなく、親もサポートできる環境だったので、安心して勉強することができた。
- ・ 授業中のゲームは子供だけではなく、親も楽しんで学ぶことができた。
- ・ 子供の進路について不安なことがあった。日本語教室で同じ環境の人とお話することができた。とても参考になるお話ばかりだった。参加してよかった。

以上のことより当日本語教室が次の効果、成果をあげることができたと考える。

- ・ 仕事場で日本人とコミュニケーションをとるためのきっかけ作りができた。
- ・ 日本で暮らしていくための情報提供ができた。
- ・ 国籍、年代を超えたネットワークが形成された。
- ・ 親子参加にしたことにより子供が授業に遅れることなく、参加者が安心して勉強できた。

- ・子供が授業に飽きないようにするためのゲームが親同士の交流のきっかけになった。
- ・日本で生活している外国人の親同士が悩みを相談し合う場の提供ができた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

参加した地域イベント

・名古屋市 清洲越し夢歩き

「名古屋市 清洲語越し夢歩き」とは名古屋開府 400 年祭のイベントのひとつで提灯を片手に歩くウォークイベント。400 年前の「清洲越」の再現したもの。参加者達には事前に名古屋市の歴史について紹介した。道を歩いていると声援が聞こえ、日本語教室で勉強した日本語の実践の場として地域の人々と話をする機会になった。

・商店街散策(お寺、神社見学)

教室から徒歩 15 分にある円頓寺商店街を散策した。事前に目的地までの地図を配布することにより、日本語で書かれている資料を読む練習になった。商店街でお菓子を購入したり、店の人にわからない日本語を聞くなど今まで日本語教室で勉強した日本語を使った。参加者の日本語の語彙数が増えてきたこともあり恥ずかしがらずに日本語でコミュニケーションをとることができた。また、神社とお寺の違いについて実際に目で見て理解することができた。

・防災センター見学

防災センター訪問の前に、日本における災害、防災グッズ、避難時に気をつける事について学習者全員で話し合った。

当日は、センターの方の説明はすべて日本語であったが、展示の写真や映像、事前学習の内容と併せながら理解しようとしていた。

日本における主な災害(地震・台風・火災)について、どういったものなのかを「身をもって」体験することで、これらに対してどう対処すべきかを考える良い機会となった。

こうしたことから、自分の子供にも見せたいという意見があった。

⑤ 改善点, 今後の課題について

a. 現状

親子で協力し合い、楽しみながら日本語を習得していくためにカリキュラムを作成し、参加者を募集した。結果 4 組の親子が参加した。授業開始後、親だけの参加が可能かどうかという問い合わせが多数あり、親子で勉強したいというよりも親が日本語の基礎を習得したいという希望のほうが多かった。名古屋で開校する日本語教室に親子で参加するということは、交通費が 2 倍かかり、また親と子の時間調整が難しいことが理由としてあげられる。

b. 今後の課題

課題として以下の点が挙げられる。

- ・ 親よりも日本語が上手な子供にとって今回の日本語教室は日本語のレベルが簡単すぎて、子供が飽きてしまうことがあった。飽きさせないような工夫が必要である。
- ・ 子供が参加する講座であるため、ゲームや色塗りなどの活動を多く取り入れ、親子で楽しみながら参加できた。全日程が終了した後、親から日本語会話を基礎から勉強できる教室がないかとの質問があった。このような声に答えるような内容の教室の開講が必要である。
- ・ 遅刻する参加者が多数いた。今後は授業の開始時間を検討する必要がある。
- ・ 子供が日本語を嫌いにならないようにするため、宿題、課題などは出さなかった。結果、繰り返し勉強しないと語彙を覚えることができない親は子供に遅れをとってしまった。今後は子供が飽きないような宿題の製作をし、親と子供の両方に宿題を出す必要がある。
- ・ 親の日本語のレベルは差があった。授業はレベルが低いほうにあわせた。そのため物足りなさを感じた学習者がいた。レベル別に日本語教室を開講したいが、参加人数が規定の人数に達しなくなってしまう。より多くの参加者が集まるように募集方法の工夫が必要である。

c. 今後の活動予定, 展望

親が日本の社会に適応できるような活動が必要である。語学学校 I.C.NAGOYA が日本語学習の指導・相談をしていく。また、子供に対しては(財)愛知県国際交流協会が実施している日本語教室等を紹介する他、引き続き名古屋駅前にある語学学校 I.C.NAGOYA において、可能な限り日本語教室を実施していく。

⑥その他参考資料

平成 22 年 10 月 2 日 使用プリント①

《 レストラン

メニュー ①》



うどん

650円^{えん}



そば

550円^{えん}



ラーメン

700円^{えん}



カレー

600円^{えん}

A: い ら っ しゃ い ま せ 。

I RA S SYA I MA SE

B: ① サ ン ド イ ッ チ を ② 2 つ く だ さ い 。

さ ん ど い っ ち
SA N D I C CHI

② 2 つ
HUAT TSU

KU DA SA I

A: か し こ ま り ま し た 。

KA SI KO MA RI MA SI TA

1) ①



じゅーす
JYU SU

② 1つ
(HITOTSU)

2) ①



あーす
A SU
くりーむ
KU RI MU

② 4つ
(YOTTSU)

3) ①



かーれーす
KA RE SU
らーいす
RA I SU

② 5つ
(ITSUTSU)

平成 23 年 2 月 26 日 成果発表会(新聞作り)の様子①



平成 23 年 2 月 26 日 成果発表会(新聞作り)の様子②

